

## 久工大だより

## 第46号

発行・編集  
久工大だより編集委員会  
久保栄市 上津野2228-66  
TEL(0942)22-2345(代表)  
FAX(0942)21-8770  
http://www.kurume-it.ac.jp

## —主要記事—

- 1期 新年の挨拶
- 2期 同窓会・授業4部・トピックス
- 3期 センター一般入校生・インターンシップ  
入校案内
- 4期 オープンキャンパス・1日大生  
公開講座・高大連携発表
- 5期 課外活動の主な成績  
卒業生再入学・保護者懇談会の報告
- 6期 勉学奨励賞

現在わが国は大きな  
目標は達成できない。  
大リーグに移籍したよ  
うに、一步一步の中  
にも飛躍のためのチャ  
レンジがなければ大き  
な目標は達成できない。  
現在わが国は大きな

## 挑戦する年

ほぼ365日地球  
が太陽の周りを一周す  
るといふ宇宙の周期現  
象をもこのこの節目に  
置き換え、前進のステ  
ップにするのは人間の  
知恵である。高い山や  
登るには、それも水や  
雪で覆われた険しい山  
となると、一步一步確  
実にステップを刻まな  
ければならない。われ  
われにとつて、新年こ  
そ新しいステップの始  
まりである。

## Message



学 長  
根本 實

去年、アメリカで大  
活躍したイチローは、  
「大きな目標を達成す  
るには小さなことの積  
み重ねしかありません。  
それが唯一の道です」  
と話していた。しかし、  
思い切つてアメリカの  
大リーグに移籍したよ  
うに、一步一步の中  
にも飛躍のためのチャ  
レンジがなければ大き  
な目標は達成できない。  
現在わが国は大きな

転換期にある。総人口  
が減少し始めるという  
これまた始末なという  
のない現象が予測され  
る中で、行財政改革や  
構造改革、規制緩和な  
どドラクスティックな変  
革が進みつつある。こ  
れは単に今のリーダー  
の特質に依存する国内  
的な変革ではなく、す  
でに20年ほど前から世  
界的には始まっていた  
ことで、わが国はスタ  
ンが遅れていたにす  
ぎない。



このような変化の激  
しい21世紀の知識基盤  
社会において、期待さ  
れる大学として役割を  
果たすには、一步一步  
実に変革を進めること  
が、飛躍のためのチ  
ャレンジが必要である。

## 新年の挨拶



機軸システム工学科  
学科長 平野 貞三  
明けましておめでと  
うございます。学生諸  
君には新たな決意を胸  
に、新年を迎えられた  
ことと思います。さて  
本学科では、創設以来  
幅広い分野で社会に貢献  
できる人材の育成を目  
指して、常に教育内容  
の充実を図ってきました  
。現在では、機械の  
システム化に対応すべ  
く、生産システム、機  
械情報、総合システム  
の3コースを設け、多  
様な学生の志向に応え  
る豊富な教育プログラ  
ムを実施しています。

交通機械工学科  
学科長 渡邊 孝司  
あけましておめでと  
うございます。ほぼ全  
体の学生諸君は、ほと  
んど2級自動車整備士

学生一人一人が自分  
の進むべき道を見つけ  
、地道な努力の積み重ね  
によって、自身の目標  
が達成できることを願  
っています。

建築・設備工学科  
学科長 春田 千秋  
アテネオリンピック  
後に開催されたパ  
ラリンピックの旗  
がテレ  
ビで放映されました  
。ご存知のようにパ  
ラリンピックは障害を負  
った人々のオリンピック  
です。とちすれば不遇  
を嘆き、挫折してしま  
いそうな障害を負った  
人々が、様々なスポー

を目標して入学してい  
ますが、平成14年度末  
から1級自動車整備士  
の国家認定試験が実施  
されていますのを知つ  
ていますか。本学科で  
は昨年度から従来の2級  
ガソリン自動車整備士  
の養成に加えてジーゼ  
ル自動車整備士の養成  
も開始しました。これ  
は卒業後に1級自動車  
整備士受験が可能にし  
、整備エンジニアとし  
てのグレードアップ  
が可能になりました。今  
年は本学科にとつて両  
資格養成の飛躍の年と  
なります。在学生の皆  
さんは2級ガソリン  
だけではなく、ジーゼ  
ル自動車整備士も目指  
せることを期待します。

環境共生平工学科  
学科長 藤山 寛教  
おめでどうございま  
す。皆様にはよいお正  
月をお迎えになられ

情報ネットワーク工学科  
学科長 大西 隼人  
皆さまあけましてお  
めでどうございます。  
旧年中は皆さまの御支  
援をいただきました。お  
新年は引き続きオリー  
ンピック大会をはじめ各  
種の行事にスタッフ一  
同心を合わせて取組  
み本学科の心を育ん  
でいくという歴史の時  
間を日々生かしています  
。情報技術に関わる本  
学科は大学の教育に常  
新しい展望と改善を  
求めはまっています。  
本年はさらにその努力  
を増し大学に新しい風  
を吹きこんでいこうと  
の所存であります。

別科  
別科長 馬場 龍彦  
別科は2年過程であ  
るので、2年の初めに  
就職試験を受ける。従  
つて、1年の期末に準  
備を行う。1月には学  
内で行うと共に、外部  
講師と先輩による講演  
を実施する。又、卒業  
生を教室で行う。一方、  
教員は2月13月に九  
州・山口県の企業を訪  
問する。3月には学生  
自ら希望する企業を調  
査し、訪問する。2年生  
は、期末試験と2級自  
動車整備士国家試験対  
策に没頭する。新春は、  
尾山寺完成の期間で中  
尾山寺キャンパスはそ  
の雰囲気は横断する。

ことを思います。  
本学科は学科設置か  
ら4年目の年になりま  
す。これまで一人と自  
然環境との調和のとれ  
た共生を実現できる  
人材育成を目指した教  
育を進めて参りました。  
その成果を出すべき年  
になりました。学科教  
員一丸となつて尽しま  
すので、ご支援をよろ  
しくお願い申し上げます。

エネルギーシステム専攻

専攻長 井手 靖雄

新年明けましておめでとございます。旧年はおオリンピックでの日本の輝かしい活躍の後、相次ぐ台風と地震の災害に明け暮れた感があります。しかし台風による風車の大被害は無かったようで安心しました。一昨年は宮古島で7台の風車が被害(倒壊)した。台風被害を乗り越えさせる技術が完成すると自然エネルギーを利用する風車は、今後徐々に増予定です。かようなエネルギー技術について幅広い知識をもった技術者の育成を本専攻は目指しております。大学院への進学者の倍増を夢見る新春であります。

電子情報システム専攻

専攻長 朱雀 保正

大学院においても、しっかりとした基礎学力をつける教育が要求されます。忘れてならないのは、「教育は教師から学生へ」の一方通行ではないこと。学生側の、自発性、学び取る力が欠かせません。人は元来優れた自発的学習能力をもっていますが、その力が発揮されるのは、いま持っている力が、立ってに限りられます。この点は、運動能力にも似ています。年の始めにあたり、心を新たに、「学生の自発性を発揮させる積み重ね教育」を心がけたいと思います。

## 図書館新システム

図書館システムがリニューアルし、10月から稼動しております。利用者向けのサービスとして図書検索(OPAC)に国立情報学研究所(NACSIS-CAT)の目録所在情報(NACSIS-CAT/ILIS)と対応し、本学の約10万6千冊の蔵書と合わせて迅速に資料が検索できるようになりました。本学は一般、専門図書、雑誌、視聴覚資料、資格試験、就職活動に必要な問題集の購入にも力を入れております。なお、新しいホームページのアドレスは <http://www.lib.kurume-it.ac.jp/>です。

## 授業ルポ

ツバイフォー工法の建築について

建設・設備工学科

高岡 誠治

現在、建築・設備工学科3年生を対象とした選択科目である「建築デザイン演習Ⅱ」において、ツバイフォー(2×4)工法による木造小屋の建設を行っている。ツバイフォー工法とは北米が起源の工法で2インチ×4インチの木材を多く使用することがその名の由来である。我が国在来の木造建築が柱や梁といった輪組みからつくられるのに対して、ツバイフォー工法の建築には柱や梁などの建築材が存在しない。代わりに、床、壁、天井等の各パーツを、堅帖と合板からなる面的な構造部材とし、それらを組み合わせる。この結果、建設プロセスが単純化され、高強度で気密性、断熱性に優れた建築ができる。このようなツバイフォー工法の特徴を、学生は文字通り体当たりで学んでいる。頭の中で建築をイメージしながら、鋸を引き、釘を打つ。何やら面白いのは、徐々に目の前に出現する本物の建築の姿である。その感動は通常の授業では得られない。今回、このように授業の中で実際の建設が可能になったのは、私とともに本科目を担当している非常勤講師の石丸賢一先生を通して、建築産材の寄付があったからだ。同先生のご尽力に感謝するとともに、建設という興味深い体験を通して、一人でも多くの学生が本気で建築を好きになって貰えればと考える。



## トピックス

<http://www.kurume-it.ac.jp>

## 山東理工大学から大学訪問

さる10月26日(火)、中華人民共和国の山東理工大学から李延中副学長が、大学間交流を目的として訪問されました。

本学学長の学校説明の後、李副学長より、山東理工大学では学生が3万人以上在籍しており、今後、自動車整備関係に力を入れたとの話がありました。

その後、大学の施設を視察され、真剣に担当教授の説明に耳を傾けられていました。



## 北京中央民族大学視察団訪問



さる8月27日(金)、中華人民共和国の北京中央民族大学から徐麗文情報処理システム科学学院院长他5名が、留学生など大学間交流を目的とした視察のため訪問されました。

本学学長のあいさつの後、中央民族大学側から、同大学は中国の少数民族の学生が7割を占める総合大学で、今後は特に理科学部部の力を引き上げたいとの話をされました。

## 韓国の中東大学から大学施設訪問

さる8月23日(月)、韓国釜山市の中東大学から、本学交通機械工学科を訪問されました。

同大学は、来年度より自動車科を開設するための視察で、交通機械工学科長の渡邊教授による施設案内や説明を熱心に耳を傾けられ、本学の充実した設備に驚かれた様子でした。



## 機器の入れ替え

情報センター長  
吉住 孝志

情報技術の高度化が進む中、社会的ニーズに伴って、ますます高性能なコンピュータが要求される時代となってきました。本学では、このような時代の流れに対応すべく、3年ごとに、新しいシステムのもとで機器の入れ替えを行っています。現在、情報センターで管理しているパソコン教室は、大小合わせて4教室あります。そのうちの3教室(4-11教室、4-21教室および4-22教室)を今年(平成16年)の後期授業開始に合わせて、約150台のコンピュータを最新機器に入れ替



えました。また、内装や机のレイアウト変更などを行い、リニューアルしました。それぞれの教室は、基本的に、同様の仕様になっています。また、学内ネットワークも3月に高速化し、動画配信に対応できるようにになりました。情報センター教室すべてのコンピュータが高速なインターネットに接続され、情報収集のスペースとして多目的に活用される快適な環境を整備されました。

これからの教室システムが、大学教育に十分活かされるように、地域社会に貢献できるように役立たせていきたいと思っています。

## インターンシップ実習

環境共生工学科 3年  
中井 大樹

8月30日より10日間、インターンシップとして久留米市水道ガス部の放光寺浄水管理センターにお世話になりました。なぜ浄水管理センターを研修先としたのかというと、卒業後の進路として公務員を目指していた事と、環境に関する仕事とが具体的にどういったことをするのか学びたいと考えたからです。

たかさんの久留米市民水を利用しています。浄水管理センターでは、水道水を利用してはいる市民の人たちに安心して利用してもらうため、公衆衛生と水質保全に努めています。

放光寺浄水管理センターは筑後川を水源としています。水脈が河川というところもあり天候や農作

物への害虫駆除などの影響によって原水の状態が毎日大きく変化します。浄水には様々な過程の処理が行われ、原水の匂いや味を入れたため、洗剤の性質がかわったり、沈殿させたためにPACを入れます。また、殺菌のために薬品を入れそれらを再び中和させ無害化するといったことも行います。

また、家庭の蛇口までの配管のために殺菌塩素の濃度も大切にしています。これらの処理には原水の状態が大きく影響を与えるため、処理水だけではなく、処理後の水質検査もとても大切なことです。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

物の害虫駆除などの影響によって原水の状態が毎日大きく変化します。浄水には様々な過程の処理が行われ、原水の匂いや味を入れたため、洗剤の性質がかわったり、沈殿させたためにPACを入れます。また、殺菌のために薬品を入れそれらを再び中和させ無害化するといったことも行います。

また、家庭の蛇口までの配管のために殺菌塩素の濃度も大切にしています。これらの処理には原水の状態が大きく影響を与えるため、処理水だけではなく、処理後の水質検査もとても大切なことです。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

今回の研修ではたかさんが今この研修期間では行われなかったが、浄水管理センターでは筑後川の環境保全と水質保全として定期的に清掃活動も行っています。

## 平成17年度 久留米工業大学 入学試験日程

## ■工学部

区分	プレインテビュー実施期	プレインテビュー実施日	出願期間	面接日	合格発表日
AO入試	8月27日(月)~3月25日(金)	申込書と捺印のうえ実施日と場所を決定	プレインテビュー結果の通知と連絡		後日通知
推薦入試	3期一般推薦	2月7日(月)~3月4日(金)	3月7日(月)	3月12日(土)	3月12日(土)
一般入試	前期	1月11日(火)~2月2日(水)	2月5日(土)	2月15日(火)	2月15日(火)
	後期	2月21日(月)~3月14日(水)	3月16日(水)	3月19日(土)	3月19日(土)
大学入試センター試験併用入試	前期	1月11日(火)~2月10日(水)	本学独自の試験は実施しない	2月18日(金)	2月18日(金)
	後期	2月21日(月)~3月14日(水)		3月19日(土)	3月19日(土)
推薦入試	後期	2月1日(火)~2月21日(月)	2月24日(木)	3月3日(木)	3月3日(木)

## ■別科(自動車工業専修2ヶ年)

募集区分	出願期間	試験日	合格発表日
推薦入試	4期	2月7日(月)~3月4日(金)	3月7日(月) 3月12日(土)
一般入試	前期	1月11日(火)~2月2日(水)	2月5日(土) 2月15日(火)
	後期	2月21日(月)~3月14日(水)	3月16日(水) 3月19日(土)

## ■大学院(工学研究科修士課程)

募集区分	出願期間	試験日	合格発表日
大学院一般入試	2月1日(火)~2月22日(火)	2月28日(月)	3月5日(土)

※大学院の推薦入試、AO入試は随時受け付けます。

※入試についての詳細は、入試広報課へお問い合わせ下さい。

## オープンキャンパス

去る10月23日(土)、第3回オープンキャンパスを開催いたしました。

今回は、学生活動の一端にも触れてもらおうとの意図から、大学祭「慈善祭」と同時開催となりました。

機械システム工学科の、模擬授業や展示デモでは2足歩行ロボットのアモや6足歩行ロボットのプロダミンクを体験、建築設備工学科は、木造建築の骨組みを学ぶため、模型を使用しての製作の取

組み、また、情報ネットワーク工学科では、高周波の電子技術を応用した幻の楽器「テルミン」の演奏にチャレンジしました。環境共生工学科では、廃油を利用した石鹸づくりや、日常のなにげない動きから、スゴイのフォームまでを業外線カメラで撮影し、コンピュータで分析することで、自分の動きを科学的な視点で見るといった体験をしてもらいました。

参加した高校生は高校とは違った体験を通してひと足早い大学生活を味わい「面白かったけど時間がちよつたりなかった」、「めったに体験できないことがたくさんありました」、「授業内容や大学祭をみるのができるとも参考になった」といった感想が寄せられていました。



現在、理工系離れが進む中、本学では教育機関として少しでも地域に貢献すべく、また工学者の自白さや物作りの楽しさを分かっていたらしく、「1日大学生」という催しを企画し本年3月より実施しています。本学附属高等学校から高等学校の学校設定科目や総合学習の時間などを活用していただき、現在までに約300名の高校生が体験しました。

授業は、大学での教育の導入部分ともいえる内容で、高校生に興味を持っていただくために演習を主とした授業を行っています。また、この授業には、学部学生や大学院生が教育補助者と



## 1日大学生

して付いていますので高校生にとっては分り易くまた親しみ易いと大変好評です。教育補助者の学生は高校生への説明や指導の事前準備にも参加し、それを工夫することで学生自身にとっての教育効果も上がっています。授業のテーマは、「ヒト型ロボットを歩かせてみよう」や「コンピュータ・デザイン入門」等多くの分野から構成されています。その中から高校生個々の興味あるテーマを選択し体験していただくまでを体験校の高校生から大変好評を受けています。高等専修学校からの問い合わせは教務課で受け付けています。

## 公開講座

今年度は下記の9講座を開講し、いずれも盛況でした。



開催日	講座名	参加者
6月11日(金)	パソコン入門講座(夏季)	25名
6月18日(金)	インターネット入門講座(夏季)	27名
8月21日(土)	こども科学教室	16組32名
10月30日(土)午前	パソコン入門講座(秋季)	30名
〃 午後	〃	27名
11月6日(土)午前	インターネット入門講座(秋季)	29名
〃 午後	〃	25名
11月13日(土)	表計算入門講座	27名
10月30日(土)		
11月6日(土)	こども英会話教室	8組16名
11月13日(土)		

## 公開講座「親子で楽しむ英会話」

小学校の「総合科目」の中で、「英語活動」が正式に導入されました。今年度、本学の公開講座の1つとして小学生とその保護者を対象にした英会話の講座を企画し、去る10月30日(土)から3回シリーズで実施しました。1回の授業は45分授業×3時間、最初の2時間は親子別々の教室で同じ内容の英会話を練習し、3時間目には親子合同で英語をしようという流れです。学習した英語表現を含んだ英語の歌やゲームを親子で交ぜ、親子で楽しめる学習になるような教材を作成し、参加した小学生が英語好きになつてくれるように工夫をしました。

山内ひさ子  
公開講座「親子で楽しむ英会話」

本学の英語教員を含む3名の英語教員で担当しましたが、普段行っている大学タイプ授業とは全く異なるスタイルの授業のため、準備授業練習限り付けを伴う英語の歌の練習、絵教材の準備などかなりの時間がかかりました。参加者からは好評を得ましたので、来年度も継続したいと考えています。



## 高大連携授業

昨年10月より本学と久留米工業大学附属高等学校の間で高大連携授業が始まりました。毎週火曜日、木曜日の午後1時30分より午後3時10分までの授業で、本年2月末迄の23回の授業が行われる予定です。この授業科目「工学総合概論」は、生徒に合わせた特別のカリキュラムで高校ではカバーできない内容が多く工学の幅広い学習内容が盛り込まれています。

寄で構成されています。このように大学が生徒のために独自のカリキュラムを組む事は全国的にもまれなケースで、学校指定科目「教養Ⅱ」の単位に含め、学校指定科目2単位、指定卒業単位に含められます。また、単位認定された生徒が本学に入学した場合は、総合教育科目の「学外教育Ⅰ」の単位として認定されます。

## 平成16年課外活動の主な成績 (平成16年10月末日現在)

クラブ	期間	成績	会場
女子バスケットボール部	5月1日～5月3日	福岡県学生バスケットボールリーグ戦2部リーグ3勝1敗2位	西南学院大学体育館
	8月26日～8月29日	第11回九州学生バスケットボールリーグ戦3部リーグ戦全勝	宮崎大学体育館
	9月19日～9月20日	第11回九州学生バスケットボールリーグ戦3部リーグ戦決勝決定戦全勝、3部リーグと1位と、2部リーグとの入替戦進出。	西南学院大学体育館
	10月15日～10月16日	第11回九州学生バスケットボールリーグ戦入替戦全勝、2部リーグ昇格	九州女子大学体育館
女子軟部	6月26日～6月27日	九州地区大学体育大会陸上競技大会 800m/3位 松野 真幸 (環境共生工学科1年) 5000m/2位 森永 美紀 (環境共生工学科1年)	大分スポーツ公園陸上競技場
	10月22日～10月24日	第32回九州学生陸上競技選手権大会 10000m/1位 森永 美紀 (環境共生工学科1年)・2位 松野 真幸 (環境共生工学科1年) 800m/2位 松野 真幸 (環境共生工学科1年)	小倉運動公園陸上競技場
	10月30日	第3回九州学生陸上競技選手権記録会 1500m/1位 松野 真幸 (環境共生工学科1年)・2位 松野 真幸 (環境共生工学科1年)	平和台陸上競技場
硬式野球部	3月31日～4月18日	新福岡大学野球連盟春季リーグ戦7勝2敗1分率優勝。 敢闘賞/岸川 浩一 (交通機械工学科4年) 富原三/島田 淳 (機械システム工学科3年) ベストナイン/小山 貴史 (機械システム工学科1年)・櫻井 順広 (交通機械工学科1年)	筑波球場民権球場球場
	5月29日～5月30日	新福岡大学野球新人戦優勝	西工大野球場
サッカー部	9月5日～10月24日	平成16年度秋季福岡県大学サッカーリーグ戦5位。九州各大学サッカー決勝大会に選出。	藤工大グラウンド
自動車部	10月10日	全九州学生ジャムカー大会秋学期大会総合4位。	三井オートスポーツランド
剣道部	7月3日	第11回久留米地区学生剣道大会に6名出場。健闘賞/小戸 秀一 (機械システム工学科3年)	久留米市立武道館
卓球部	7月7日	九州地区大学体育大会卓球競技大会6名出場。	福岡市総合体育館
	8月30日	第55回全九州学生秋季卓球大会に7名出場。	福岡市立体育館
ソフトボール部	5月29日	九州地区大学男子ソフトボール大会に出場。	知覧町平和公園多目的球場
バスケットボール部	7月3日	九州地区大学体育大会バスケットボール競技大会に出場。	筑波公立大学体育館
バレーボール部	5月29日～5月31日	九州学生春季バレーボール男子リーグ大会に出場。	宮崎県体育館
フットサル部	7月4日、7月11日	第6回アサヒ飲料杯フットサル大会に2チーム出場した。	プリレストンフットサルコート
水泳部	6月26日～6月27日	第64回九州学生選手権水泳水泳競技大会に3種目、3名出場。	福岡市総合西市民プール
	7月17日～7月18日	九州地区大学体育大会水泳水泳競技大会に3種目、3名出場。	福岡市青島山プール
バドミントン部	5月2日～5月3日	第45回福岡県学生バドミントン選手権大会に2名出場。	北九州大学体育館
	6月9日～6月11日	第53回全九州学生バドミントン選手権大会に2名出場。	熊本県立体育館
陸上競技部	5月21日～5月23日	九州学生陸上競技対校選手権大会に4種目、4名出場。	博多の森陸上競技場
	6月26日～6月27日	九州地区大学体育大会陸上競技大会に4種目、4名出場。	大分スポーツ公園陸上競技場
ソーラーカーレース部	8月28日～8月29日	エコ&エイティブライズチャレンジに出場。	広島県免許センター
山岳部	8月21日～8月26日	登山合宿として、登山を行った。	北アルプス (北穂・美穂)
自転車競技同好会	6月6日	第16回福岡県サイクルフェスティバルに3名出場。	各地1日特別コース

## 学業優秀奨学生

平成16年度学業優秀奨学生が決定し、平成16年12月16日(金)に久工大の講堂で表彰式が行われ、以下のとおり表彰された。

機械システム工学科		5	3	木 宮 新 子	豊のりょう学園	
No	学号	氏名	出身校	5	土 城 結 穂 枝	コザ
1	1	唯 藤 光 謙 西 裕 愛	7	4	河 野 聡 藤 上 中 郎	
2	2	藤 原 貴一郎 大 晃	5	*	本 場 尚 樹 加 治 木 工 業	
3	3	藤 原 貴 之 三 浩	*	情報ネットワーク工学科		
4	*	藤 田 勇 一 貴 之 成	No	学号	氏名	出身校
5	4	江 藤 康 樹 淳 弘 工 業	1	1	大 村 徹 太郎 大 機	
6	*	松 谷 泰 大 朗 伊 万 里	2	*	原 口 太 朗 龍 谷	
交通機械工学科		3	*	西 田 貴 之 大 年 田 南		
No	学号	氏名	出身校	4	2	長 尾 貴 明 上 五 島
1	1	渡 邊 哲 也 藤 西 敬 宏	5	*	宇 野 朋 和 長 門	
2	*	小 野 部 浩 介 松 本 美 道 学 校	6	3	松 本 悠 朗 久 留 米	
3	*	渡 辺 秀 明 日 尚 学 院	7	*	杉 本 久 郎 龍 谷	
4	2	志 家 元 浩 龍 本 商 工	8	4	江 藤 勇 一 東 福 田	
5	*	山 内 隆 也 北 松 高	9	*	渡 邊 哲 明 三 池	
6	*	早 田 康 幸 下 松	10	*	大 川 浩 司 鹿 児 島 情 報	
7	3	藤 田 浩 介 藤 早 東	環境共生工学科			
8	*	松 本 泰 朗 龍 谷	No	学号	氏名	出身校
9	*	有 元 亮 介 梓 葉	1	1	岡 本 華 実 鹿 田	
10	4	森 下 智 幸 大 塚	2	2	吉 賀 潤 美 玉 名	
11	*	林 達 浩 羽 水	3	3	中 井 大 樹 伊 万 里	
12	*	岡 本 智 典 龍 谷 商 工 業	別 科			
建築・設備工学科		No	学号	氏名	出身校	
1	1	石 田 知 宏 山 田	1	1	陣 内 勇 人 九 州 学 院	
2	*	秋 月 良 光 堀 田 工 業	2	*	森 本 悠 日 田	
3	2	西 尾 龍 弘 下 関 第 一	3	2	橋 島 花 介 第 二	
4	*	浦 田 雅 典 龍 谷	4	*	白 江 淳 南 院	

## 保護者懇談会の報告

平成16年度の保護者懇談会を下記の通り行い、多数の参加がありました。本学では、随時学生及び保護者の皆様方のご相談をお受けいたします。お気軽にご相談ください。

開催日	開催地	参加者
9月4日(土)	佐賀会場 (佐賀観光ホテル山本荘)	49名
*	熊本会場 (ニュースカイホテル)	34名
*	山口会場 (サンルート国際ホテル山口)	42名
*	松山会場 (南海放送本町会館)	23名
9月11日(土)	鹿児島会場 (ホテルジエネラス鹿児島)	47名
*	広島会場 (広島国際会議場)	43名
*	大分会場 (大分フロンティアホテルプラザ)	32名
9月18日(土)	久留米会場 (久留米工業大学)	213名
*	宮崎会場 (宮崎観光ホテル)	38名
*	高崎会場 (瑞穂山観光ホテル)	32名
*	沖縄会場 (ホテル西武オリオン)	33名
9月19日(日)	福岡会場 (アークロス福岡)	158名
	合計	744名



愁華祭

第29代愁華祭実行委員会

10月23日、24日に第29回愁華祭が開催されました。近年当実行委員会は天候に振まされたいましたが、今年も夏を思わせるほどの晴天でした。

今年も、会場のテント配置を大きく変更したり、提灯によるライトアップ、休憩所の設置など会場の雰囲気づくりを重点的に改良しました。そのお陰か会場も例年より賑わい、よかったですという声も多く聞きました。

委員長 戸田 直洋



手製のSも登場

企画では毎年恒例沖磯組人会エイサー、空手演武の他、ケイタクトライブ、Veevenライブなどとても盛り上がりました。また、今年は八女神太鼓さんに演奏して頂きました。来年もぜひ演奏して頂きたいです。

今年の成功は御協力、参加して下さった方あつてのことです。真に感謝しております。例年同様30回愁華祭は来年とはまた違った面を

当大会非常勤講師の広島正二郎先生が作られたミニSも愁華祭に華を添えてくれました。メイン会場に設置した全長30m程の線路上を、来学した子供たちをのせ男社(?)に走っていました。



準備 黒木 源風義塾  
優勝 阪球レバース  
準優勝 塚河川シャークス



第三位 塚河川シャークス

久松米工業大学旗争奪少年野球大会を終了

愁華祭行事の一端として開催した第13回久松米工業大学旗争奪少年野球大会が、昨年より1チーム増え22チームの参加で、10月23日(土)、24日(日)、25日(月)の3日開催された。女子選手3人を含む約500人の選手が参加で各チーム声援のもと元気一杯に熱戦が繰り広げられた。

なお、閉会式では、大会会長である根本学長が「次の目標に向かって、大きく飛躍してほしい」とあいさつをした。

試合の結果は次のとおりであった。

愁華祭の思い出

昭和55年度卒業生 林 健彦

クラブ紹介

T・C・G同好会  
3年 岩井 匠  
私連同好会は、2年前の7月に、「愛好会」として発足し、今年4月に「同好会」に昇格した。文化系サークルです。部員数は、1年生1名、2年生4名、3年生7名、4年生7名の計17名で活動しています。

T・C・Gとは、TRADING.

CAR D・G A M Eの略称でトレーニングカードを用いて行うカーゲームの事を指します。

次は活動内容を指します。練習は火曜日、木曜日、土曜日にクラブハウスで行っています。それ以外には文化会の発表の場である四方八方祭や、学園祭である愁華祭などに積極的に取り組んでいます。また、いろいろな店舗や、他の地域で行われている大会等にも積極的に参加し、好成績を修め全国大会にも

は毎日行いました。また、競技が夜間のため、苦情が出ないための対策、スポンサーからの援助等に対応する問題、これらの事柄には、特別に部員全員が一丸となり努力と協力を向かっており、力が大きく伸びています。このことを私は、愁華祭でより一歩進歩することを体験し学びました。

私の愁華祭の思い出は、所属していた自動車部が毎年恒例行事として開催したナイトトラフィクスです。この競技は、夜から翌朝にかけて、一般道路に設定したコースの各区域に指定された速度で走行し、競技者には公表されていないチェックポイントを通過したときの時間を計測し、各チェックポイント間の所要時間と主催者が設定した時間との誤差で勝敗が争

われまふ。この競技の間他には、競技者や観客の車に支障を与えないための配慮と初心者でも安全に楽しく競技に参加できるコースの設定が重要で、長時間かけてよく検討しコース設定を行っていました。しかし、警察からの道路使用の許可が認められなかったり、天候の不順により道路が荒れて使用できなくなったり、道路工事が予定外に始まったりした場合には、コースや走る速度の変更を行い、さらに競技開催が近づくとコースの安全確認をは

在学生の諸君も愁華祭に参加して、何かと切にできる事柄を是非とも体験して下さい。

まだまだという響きだと思えます。その言葉を広い世代の人間に理解してもらえよう、初心者講習会なども予定していますのでご参加ご理解等頂けるとおと思っています。

最後になります。私連T・C・Gを応援し激励して下さった方々、真にありがとうございます。これからも応援、励ましを宜しくお願いします。